

生活に困ったときのSOS くらしごとセンターへ

物価高騰などにより、全国では令和5年の生活保護申請件数が前年比7.6%増と25万件を超え、4年連続の増加となりました。生活困窮の問題は、家計管理や就労、健康などさまざまな要因が影響しています。

市では生活に困ったときのSOSを受け止めるた

め、くらしごとセンターを設置しています。相談することが、解決への第一歩です。一人で悩まず気軽に相談してください。

問合 福祉相談支援課 くらしごとセンター
Tel.674-7767 ID 002453

相談から支援まで



「お金で困っています」を解決へ

家計相談支援

家計改善支援員が下記のケースのようにお金の問題などを一緒に考えます。必要に応じて法律の専門家なども紹介します。

こんなことで困っていませんか？

- 家計を管理できない
- カードの支払額が多い
- 進学費用が足りない
- 滞納している

支援できる例

- 家計再建のアドバイス
- 滞納しないこつ
- 必要な収入額の明確化
- 専門家の紹介

困りごとケース

なぜかお金が足りない

ネット通販や電子マネーでの買い物が多くなって、月々の支払い額を把握しないまま、やり繰りしてきました。

ある日、光熱費などの引き落としができなくなって、ひとまず10万円のカードローンを組むことに。今度は家賃が払えなくなり、この状況がずっと続くのかと不安でした。



相談者：1人暮らしの20代女性

支援員がサポート

家計改善

支援員と家計を見直すことで、解決できるお金の問題は多いです。一緒に改善しましょう。よくある相談は次のとおりです。

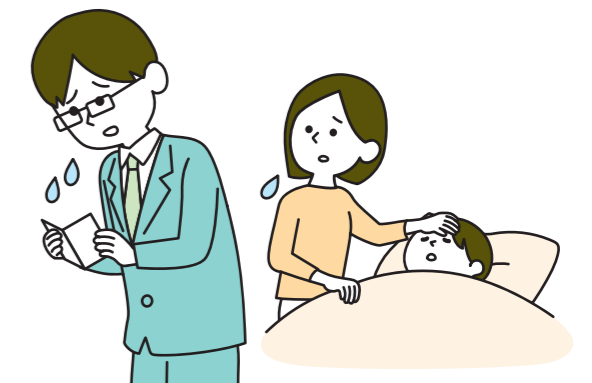
- 借金
 - ・住宅、自動車、学費などのローン
 - ・クレジットカード、消費者金融への返済
- 滞納
 - ・税金や各種保険料（国保・介護・年金）
 - ・光熱水費、家賃、保育料 など

困りごとケース

月々の返済が厳しい

月々のカードローンの返済が8万円ありました。子どもが病気がちで、フルタイムでの共働きができなくなって、ついに返済の督促が届きました。

弁護士に頼むにしても費用が掛かります。一刻も早く返済しなければと焦っていました。



相談者：妻子と3人暮らしの30代男性

法律専門家がサポート

解決への道のり

支援員と弁護士のサポートで負担軽く

家計改善を進めながら、任意整理（右記）することにしました。

また、法テラスに費用を立て替えてもらって、弁護士さんに入ってもらうことに。貸主との交渉で、月々の返済を5万円までに減額できました。子育てとの両立に見通しが立ち、気持ちにも余裕ができました。

任意整理

弁護士などが貸主と交渉して、利息を見直したり、返済期間を延長して月々の支払額を減らしたりします。

法テラスの利用

法テラスは法律の総合案内所。経済的に余裕のない人に、無料の法律相談をはじめ、弁護士・司法書士費用の立て替えなども行います。

「働きたい」をサポート

就労支援

「働きたい」人のサポートは就労支援員が対応。就労前の準備から就労体験、就職までその人に合ったアドバイスをします。

こんなことで困っていませんか？

- 会社に解雇された
- 子が引きこもりで無職
- 長時間働けない
- 働いたことがない

支援できる例

- 仕事を一緒に探す
- 就労体験先の紹介
- 働き方のアドバイス
- ビジネスマナー指導

困りごとケース

就労に踏み出せない

大学中退後、両親と同居。アルバイトを含め就労経験がありませんでした。仕事の探し方も分からなくて。このまま両親に頼ってばかりではいけない。きっかけがあれば就職したいという思いはありましたが、踏み出せないままでした。



相談者：就労経験のない20代女性

支援員がサポート

働く前の不安を解消

社会参加に不安がある人などに対しては、働く前に身に付けたいことを支援員がサポートします。

- ・社会でのマナー、身だしなみ
- ・就労を想定した生活リズム
- ・不安を感じる場面での対処
- ・市内事業所での職場体験など

解決への道のり

職場体験が大きな自信に

支援員さんに自信が付けば大丈夫と職場体験の受け入れ先を探してもらいました。職場体験の経験が自信になって、企業の面接もうまくいき、採用してもらうことができました。自分に合った職種を知れて、働くイメージが持てたので、一歩踏み出せたと思います。

困りごとケース

希望の仕事が見つからない

年金だけでは生活が厳しいので、収入を増やすために働き先を探していました。体力的に長時間の就労が難しいのと、これまで経験のある業種というのを条件にしていました。ところが、希望に合う仕事なかなか見つからず悩んでいました。



相談者：単身の年金暮らしの60代男性

ハローワークがサポート

自分に合う仕事探し

くらしごとセンターの隣には「就職支援たかつき（ハローワーク）」が併設。支援員とハローワーク職員が共同で仕事探しをサポートします。

就活のスキルアップ

支援員が履歴書の書き方や面接の受け方など、就活の知識やスキルも伝授します。

解決への道のり

適正な条件で求人は広がる

支援員さんの提案で隣接するハローワーク（右記）で相談することに。「やりたい仕事」だけでなく、「できる仕事」を幅広く探すと思った以上に求人がありました。面接前にしっかりバックアップしてもらい、就職することができました。

いろいろ相談しよう くらしごとセンターで

仕事が見つからない	収入が少なく生活が苦しい	病気で治療費が多くかかる
介護費の負担が大きい	引きこもりの子どもの将来	借金が支払えない

紹介してきたケース以外の困りごと、くらしごとセンターで支援します。複数の問題が絡むときは、社会福祉協議会など関係機関とも連携して支援します。



- ①生活福祉資金の貸し付けなどの相談
- ②若者の職業的自立をサポート
- ③障がい者の就労などの相談
- ④介護保険など高齢者に関する相談
- ⑤専門相談につなぐ地域の相談役
- ⑥ハローワークなど



一人で抱え込まないで 人生に寄り添う気持ちで支援

就労支援員
柳井政和さん

生活に困っている人が抱える問題は、一つとは限りません。相談者が気付いていない課題が潜んでいる場合、一人で解決するのは難しいかもしれません。

私たちは、まずはお話をじっくり聞かせてもらって、その人に合ったプランを作ります。そこから、相談者の人生に寄り添う気持ちで、支援をスタートさせます。

より良い明日に出会うため、一緒に問題解決に取り組みませんか。まずはくらしごとセンターへご相談ください。

その他の支援事業

住まいの確保に困っている人を支援します。

住居確保給付金の支給

離職などにより住居を失う恐れのある人に就職活動などを条件に、家賃相当額（上限あり）を一定期間（3～9カ月）支給します。

一時的な生活支援

住居がない人に短期間、宿泊場所や衣食を提供し、就労を支援します。
※資産や収入などの条件あり